

校友会グランドデザイン

策定に向けての中間報告 2022

校友会活動基本方針

校友会を楽しもう

追手門学院大学校友会

Otemon Gakuin University Alumni Association

I. 策定の趣旨

— NEXT 100 —

校友会結成から50年が経過しました。今般、校友会の『校友会グランドデザイン(校友会活動基本方針)』を策定する趣旨は、成熟期を迎えた会として、これからの活動のために意思統一を図り、組織の拡充・改革の指針を示すことにあります。組織には「つねに進化が求められ、停滞はすなわち後退」とも言われている時代です。これまでの校友会の活動実績を基に、新しい成果を蓄積して積み上げて行く必要があります。この認識のもとに校友会の課題を解決し、目標に向けて邁進して行く為の指針としたい所存です。

母校は、新たに茨木総持寺キャンパスに新学舎を建設し、大きく変革を進められて来ています。我々校友会も共存して行く団体として、今後の『校友会グランドデザイン(校友会活動基本方針)』を策定することが重要な時期にきています。また、学校法人追手門学院は学院の目指すべき方向性を明確化し、イノベーションの発信拠点として地域社会、国家および国際社会に貢献する存在となるべく「長期構想2040」を策定されています。校友会も、その学院の目標達成に向けて歩調を合わせ、協力して取り組みをしなければならぬと考えます。

今回の中間報告書は、校友会結成50周年記念式典・祝賀会の開催にあわせて作成したものです。今後は、次期の役員改選が行われる2023年4月1日に向けて、『校友会グランドデザイン(校友会活動基本方針)』の最終策定を進めて行き、完成させ、それを次期役員及び会員に提示します。そして、すべての方に公表し、共有化を図ります。

『校友会グランドデザイン(校友会活動基本方針)』は役員の任期である3年間を一つの単位(期)とし、今回は次期役員の任期である2023年度から2025年度を第I期として、第III期まで(計9ヵ年)の『校友会グランドデザイン(校友会活動基本方針)』を策定することを目指しています。そして、第I期～第III期(計9ヵ年)の『校友会グランドデザイン(校友会活動基本方針)』を策定して繋げて行く予定です。

II. 策定の方法

— 未来への創造 —

今回の『校友会グランドデザイン(校友会活動基本方針)』の策定は、現任の5名の副会長(前田順一、生川紳一郎、吉田浩幸、官浪伸次、玉井史郎)が主担当者となって起案し、常任理事会及び理事会の議決を経て、評議員会に報告する方法で行います。そして、会長 藤尾政弘に上申します。

校友会結成50周年記念キャッチフレーズ



**Making the Future
Next 100**

— つながる ひろがる もりあがる —

校友会は、50周年を契機に、未来に向かって、追手門学院大学と共に強い絆を築き、進んでいきます。

校友会結成
50周年記念植樹
センベルセコイア

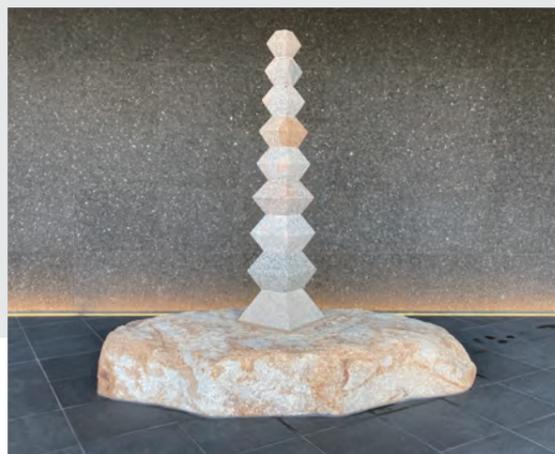
昭和46年(1971年)5月30日結成
令和3年(2021年)4月17日建之

Ⅲ. 策定における視点

－校友相互の人脈と親睦を深める人生の応援ネットワーク－

1. 校友会の目的を活動原点とし、組織力の強化を行い会員の絆を構築する。
2. 校友会の財政基盤を強化し、その確立を進める。
3. 校友会は、追手門学院大学との連携体制の強化を行い、母校の発展に寄与し、在校生の支援をする。
4. 校友会は、追手門学院大学のおよび伝統を継承し、新しい追大文化を創る。
5. 校友会活動に関する会員の認知度を向上させるために、会報を充実させ、PRに努める。
6. 卒業生データベースのより一層の充実に努める。
7. 各会員は市民社会の一員として幅広い人間関係を構築し、社会貢献や企業間交流などを促進する。
8. 校友会は、組織運営の継続のために役員を育成をする。
9. 各会員が歩み続けることを支援する活動に取り組む。

- | | |
|------------------|--------------------------|
| ①入学期 学生会員入会 | 新1年生歓迎会、学生県人会を開催する。 |
| ②卒業期 正会員入会 | 卒業前夜祭・同期会発足式を行い、幹事を選出する。 |
| ③卒業後 10年同窓会(同期祭) | 開催に向けて同期会幹事が実行委員となる。 |
| ④卒業後 20年同窓会(同期祭) | 開催に向けて同期会幹事が実行委員となる。 |
| ⑤卒業後 30年同窓会(同期祭) | 開催に向けて同期会幹事が実行委員となる。 |
| ⑥卒業後 37年同窓会(還暦祭) | 開催に向けて同期会幹事が実行委員となる。 |
| ⑦卒業後 47年同窓会(古希祭) | 開催に向けて同期会幹事が実行委員となる。 |



OICLE (おいくる)



初代学長
天野利武先生の顕彰碑

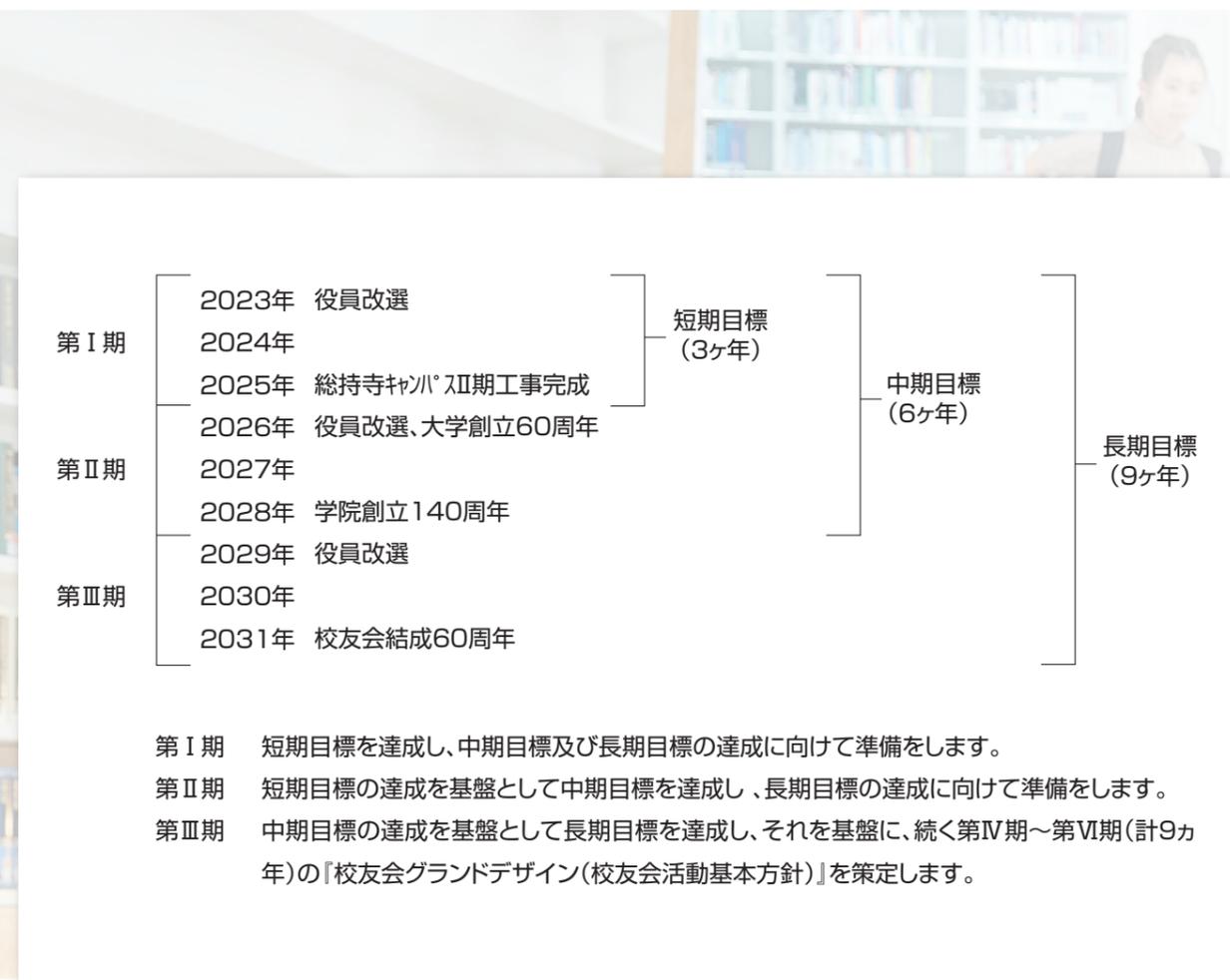
10. 各委員会の課題の検討(改善方針と計画、今後の展望)

- | | |
|-----------|---|
| ①総務委員会 | 各種規程等を状況に合わせて新設・変更することを検討して行く。校友会の法人格取得への課題を検討する。 |
| ②財務委員会 | 財政シミュレーションを行い、資金計画を立案し、財政基盤の強化を図る。校友会が行う事業の全てに予算が関わるので、費用対効果を踏まえて検討する。 |
| ③広報委員会 | 会報の紙面刷新化・電子化を検討する。ホームページ・Facebook・LINE等のSNS活用方法を検討する。広く大学の『知』を知らしめるPR活動をする。 |
| ④企画事業委員会 | 講演会・ビジネス交流会等を計画し、会員家族の参加型事業への取り組みも検討する。若手会員の参加を促す事業を検討・実施する。 |
| ⑤支部支援委員会 | 全国に支部の設置を目指す。当面は大阪地区割の支部設立に向けての課題を検討する。支部活動を活性化するために、各支部が毎年1回定時総会を開催し、事業計画や予算・決算などの重要事項について検討できるようにする。その他、支部活動を活性化するための施策を検討する。 |
| ⑥同窓会支援委員会 | ゼミに同窓会を設けるシステム作りを検討する。すべてのクラブにOB・OG会の設置を推進するための施策を検討する。 |
| ⑦HCD実行委員会 | ホームカミングデーの懇親会において、卒業年度ごとの交流の場である「卒業年祭」を開催することを同窓会支援委員会と共に検討する。校友大会の実施方法を検討する。 |
| ⑧学生支援委員会 | 学生会員に対する校友会の認知度向上に向けての課題を抽出・検討し、学生会員への支援方法について検討する。 |
| ⑨周年事業委員会 | 大学創立60周年事業(2026年)、学院創立140周年事業(2028年)及び校友会結成60周年事業(2031年)へ向けて、校友会としての取り組み方を検討する。周年事業の適正な予算規模についての課題を検討する。 |

将軍山会館(校友会館)

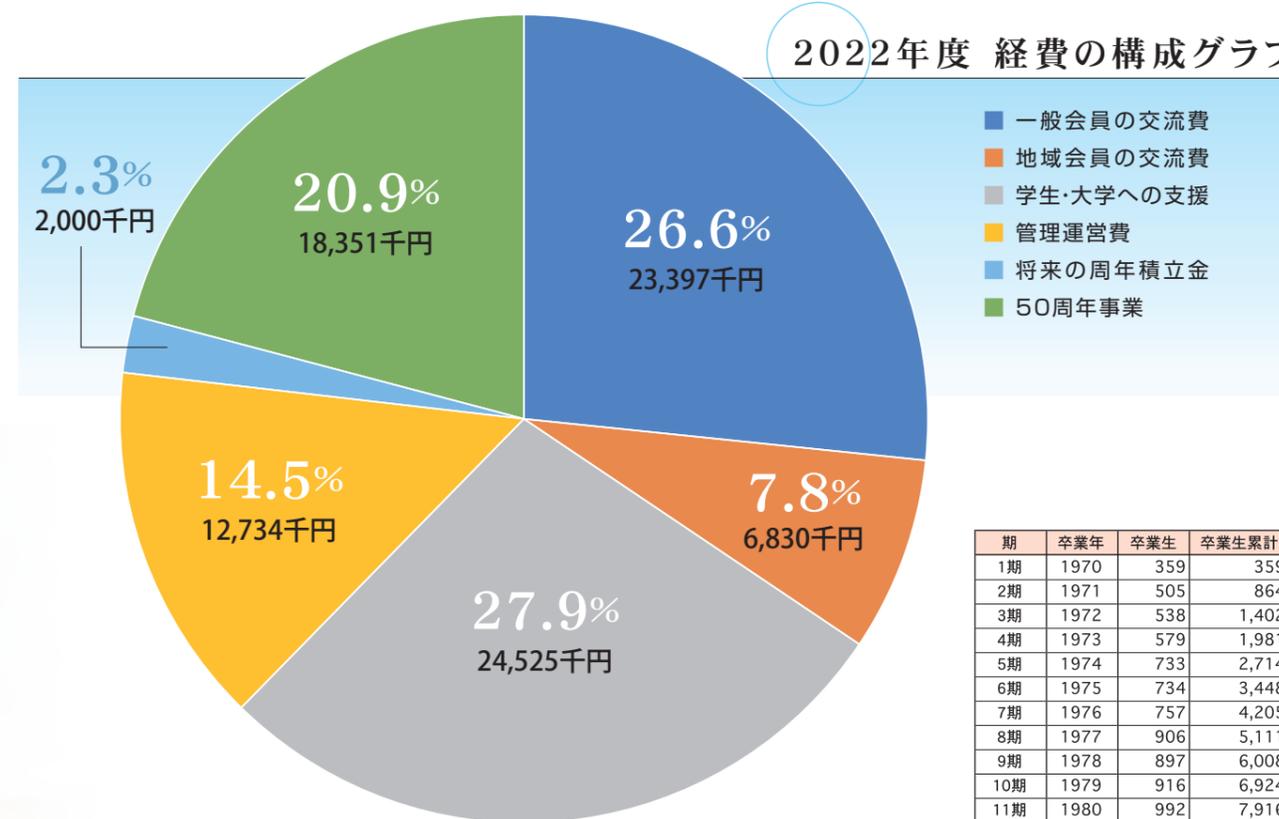
IV.目標体系

— 結成60周年に向けて ～そしてその先へ～ —



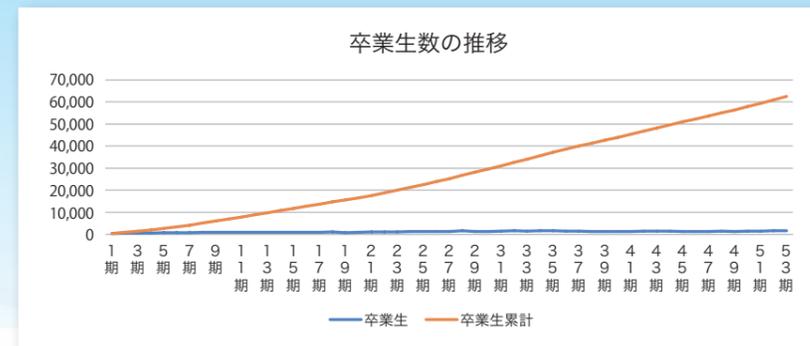
今後は、『校友会グランドデザイン(校友会活動基本方針)』策定における視点に基づいて、短期、中期、長期の各目標を設定し、上記の目標体系を具体化します。そして、2023年3月31日までに『校友会グランドデザイン(校友会活動基本方針)』を完成させます。

2022年度 経費の構成グラフ



期	卒業年	卒業生	卒業生累計
1期	1970	359	359
2期	1971	505	864
3期	1972	538	1,402
4期	1973	579	1,981
5期	1974	733	2,714
6期	1975	734	3,448
7期	1976	757	4,205
8期	1977	906	5,111
9期	1978	897	6,008
10期	1979	916	6,924
11期	1980	992	7,916
12期	1981	981	8,897
13期	1982	918	9,815
14期	1983	968	10,783
15期	1984	1,024	11,807
16期	1985	983	12,790
17期	1986	976	13,766
18期	1987	1,071	14,837
19期	1988	835	15,672
20期	1989	903	16,575
21期	1990	1,091	17,666
22期	1991	1,187	18,853
23期	1992	1,165	20,018
24期	1993	1,258	21,276
25期	1994	1,285	22,561
26期	1995	1,321	23,882
27期	1996	1,366	25,248
28期	1997	1,577	26,825
29期	1998	1,357	28,182
30期	1999	1,374	29,556
31期	2000	1,469	31,025
32期	2001	1,567	32,592
33期	2002	1,421	34,013
34期	2003	1,564	35,577
35期	2004	1,578	37,155
36期	2005	1,482	38,637
37期	2006	1,386	40,023
38期	2007	1,355	41,378
39期	2008	1,300	42,678
40期	2009	1,333	44,011
41期	2010	1,357	45,368
42期	2011	1,438	46,806
43期	2012	1,466	48,272
44期	2013	1,409	49,681
45期	2014	1,322	51,003
46期	2015	1,366	52,369
47期	2016	1,309	53,678
48期	2017	1,390	55,068
49期	2018	1,375	56,443
50期	2019	1,464	57,907
51期	2020	1,413	59,320
52期	2021	1,595	60,915
53期	2022	1,583	62,498

卒業生数の推移





追手門学院大学校友会

- 【大学所在地】〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 (茨木安威キャンパス)
〒567-0013 大阪府茨木市太田東芝町1-1 (茨木総持寺キャンパス)
- 【事務局】〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20 (追手門学院大阪城スクエア)